

発言通告表（一般質問）

令和4年6月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
10	高橋 正典（9）	<p>1. 富士市内の分譲地内の公園及び雨水調整池の管理について</p> <p>市内各地に分譲地が整備され、多くの住宅地ができてきたところだが、この分譲地には、その規模によって異なるところではあるが、遊具を備えた公園が設けられている。この公園については、分譲地内の住民が主体的に利用しているところである。</p> <p>この公園も、新設されたときには、分譲地内に住んでいる若夫婦が幼い子供の手を引いてブランコに乗り、滑り台で遊びに興じる姿が見られる。しかし、何年か経過すると雑草に覆われた広場や植え込み、花壇が見られるようになる。</p> <p>これら公園について、本市として管理を継続していくことに限界もあろうかと思う。</p> <p>また、このような分譲地内に整備された雨水調整池があるが、これは分譲地内に降った雨がここの側溝から付近の水路に一気に流れ出るのを防止するために、この雨水調整池に一時的にためて、少しずつ隣接する水路に流していくものではあるが、同時に道路、水路にたまった土や砂も運び込むため、雨水が徐々に吐けていくと、調整池内の吐水口付近に、広範囲に泥として取り残されることになる。さらにここに雑草がはびこるのは時間の問題で、その処理の方法を模索しなければならないと考える。</p> <p>そこで以下質問をする。</p> <p>(1) 分譲地内の公園については、設置時点で市の管理になると考えるがいかがか。</p> <p>(2) この公園の雑草処理や、樹木の剪定などの管理はどのように行われているか。</p> <p>(3) 区画整理内の規模の大きな公園においては、住民サービスの観点からもトイレを設置すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 市内に点在する宅地分譲された地区に設置されている雨水調整池は、どこの管理下にあるか。</p> <p>(5) この調整池内の汚泥や雑草等を除去するなどの清掃管理は、誰が行っているのか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
11	荻田 丈仁（22）	<p>1. 積極的な高等教育機関への留置、誘致の取組について</p> <p>富士市での大きな課題として、市内に進学先としての高等教育機関が少ないことが挙げられる。県内3位の25万都市でありながら、大学はなく、専門学校が5校あるが、うち1つは市立と、民間の高等教育機関が明らかに少ない。若い世代の人口確保、雇用やにぎわいの創出等のためにも、常葉大学富士キャンパス撤退後の最重要課題である高等教育機関の誘致には、市としても力を入れなければならないのは言うまでもない。</p> <p>現在、新富士駅付近への大学のサテライトキャンパス誘致や富士駅北口付近への専門学校誘致に力を注いでいる。喫緊の課題である若い世代の人口流出を防ぐ上でも、新たな高等教育機関の誘致は不可欠である。しかしながら、高等教育機関の誘致は重要な取組であるが、同時に常葉大学富士キャンパスが撤退してしまったように、今後、現在ある高等教育機関としての専門学校についても、少子化が進む中では撤退や移転の可能性は否めない状況が考えられ、市として、学生・生徒数の確保も含めた高等教育機関に対する具体的な留置策を行うべきと考える。また、業界の発展に寄与する企業や産業政策の観点からも、民間企業である専門学校に対しての誘致策や具体的な留置策を示していくことが重要と思われる。その上で、既存の専門学校に配慮しつつ、高等教育機関の誘致は誘致として積極的に進めるべきことであるが、市内に若い人にいてもらう、残ってもらう、来てもらうためにも、コロナ禍もあり厳しい状況下で、今ある専門学校に対しての支援や市内の専門学校の学生・生徒が増えることは市にとっても政策的にありがたいことで、進学、通学する学生・生徒を大事にする姿勢を市として積極的に示すことは必要であると考える。改めて市には、今あるもの、市内にいる人を大事にすることは認識してほしい。</p> <p>今後、産官学の考えの下、市として民間の専門学校ともしっかりと連携を取りながら、高等教育機関の具体的な留置策として、現在ある専門学校に対しての支援や市内にある高等教育機関に進学、通学する学生・生徒への支援等を早期に打ち出すことは、新たな高等教育機関の積極的な誘致を進める上でも重要と考え、以下質問をする。</p> <p>(1) 常葉大学富士キャンパス撤退に対しての分析はどのようなものか。</p> <p>(2) 富士市の重要課題として捉えている新たな高等教育機関の誘致を進める上での条件や支援はどのようなものか。また、同時に産業面からも支援はあってしかるべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 直近での新富士駅前のサテライトキャンパスや富士駅前の専門学校誘致の進捗状況について、具体的な内容はどのようなになっているのか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
11	荻田 丈仁（22）	<p>(4) 高等教育機関の留置についての考え方はどのようなものか。市内にある高等教育機関の状況は把握しているのか。</p> <p>(5) 高等教育機関への支援として、市独自に、市内にある民間の専門学校への支援を進めるべきと考えるがいかかが。富士市の高等教育機関に進学及び通学する学生・生徒に対して市として入学祝い金、通学補助、就学支援等を検討すべきと思うがいかかが。</p> <p>(6) 行政と高等教育機関との連携は重要であると思うがいかかが。その上で、市内にある専門学校については市として周知発信を応援することや情報共有の場としての富士市専門学校協議会を立ち上げるべきと思うがいかかが。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
12	長谷川祐司（4）	<p>1. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について</p> <p>富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況については、同じ項目での一般質問を令和元年9月定例会の場でお聞きいたしました。</p> <p>質問として、過去に防災避難訓練や来庁者の避難誘導訓練は実施されているのか、市の職員1人1人に各自が取るべき行動は周知されているかをお聞きいたしました。</p> <p>市長答弁では、庁舎管理を行う資産経営課職員など限られた職員で避難誘導、消火訓練を行ってきたが、来庁者も含めた全庁規模で実践的な避難誘導訓練などは実施したことはなく、このことは、従前からの課題として感じていたが、来庁者1人1人への周知が困難なことや、通常業務への影響に対する懸念もあり、実施に至っていなかった。また、近年、地震や台風、異常気象などの災害が多発していることから、職員が来庁者の避難誘導など、発災時に的確な対応が取れるよう備えておくことが重要であると認識しているため、まずは、自衛消防組織の各隊長から班員までを対象とした訓練を実施し、その役割を周知徹底した上で、訓練対象を徐々に広げていきたいと考えているとの前向きな答弁をいただきました。</p> <p>また、その後、令和2年2月定例会の一般質問の場で、自衛消防組織の隊長から班員までを対象とした訓練の進捗と市職員が自身の安全を確保しつつ、来庁者の避難誘導等、果たすべき役割の実践に向けて、避難経路、避難場所の周知はできたのか質問をさせていただきました。</p> <p>その際の答弁では、市庁舎の各棟の階ごとに隊を編成し、初期消火班や避難誘導班を配置している。訓練については有資格者の確保や夜間の対応など、組織としての課題が判明したことや来庁者への対応についても検討が必要なことから、実施日時、訓練要員の範囲など、関係各課と調整協議を進め、新年度のできるだけ早い時期に避難訓練を実施したいと考えている。また、各職員が自衛消防組織として果たすべき役割について認識し、庁舎内の全ての人に対し避難誘導などを確実に実行できるよう訓練を実施していくとの回答でした。</p> <p>その後、2年4か月が経過しておりますので、改めて現在の進捗状況について確認させていただきたいと思っております。</p> <p>(1) 自衛消防組織の隊長から班員までを対象とした訓練の実施状況はいかがでしょうか。</p> <p>(2) 自衛消防組織の役割を周知徹底した上で訓練対象を徐々に広げていくとのことでしたが、現在、訓練対象はどこまで広がっていますでしょうか。</p> <p>(3) 今後、来庁者の誘導や自力での避難が困難になる方への対応も含めて、庁舎内で働く方々1人1人への役割の周知徹底をしていく訓練計画はできていますでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	井上 保（17）	<p>1. 旧富士川町域における歴史文化の活用について</p> <p>第六次富士市総合計画が始まった。この中で基本目標の一つに「魅力を活かし人と人を繋ぐまち」が掲げられ、将来像として観光交流の推進・多彩な交流の創出が期待され、市内の観光資源・歴史文化の活用の方針が示されている。</p> <p>また、令和2年度、令和3年度において、富士市の文化財の計画的な保存と活用を推進し、文化財を地域の資源として観光等に活用していくため、富士市文化財保存活用地域計画（案）が作成された。</p> <p>これまで富士市観光基本計画（令和2年3月改訂版）の中で施策4 歴史・自然の活用として、「富士川・松野地区等の文化財の活用」が掲げられてきたが、この中では「文化財保存活用地域計画との整合性を考慮し」となっており、文化財保存活用地域計画の作成が待たれていた。</p> <p>いよいよ富士市の文化財の観光分野での活用に向け、計画が整うところとなった。この際、旧富士川町域における歴史文化の活用について、以下質問する。</p> <p>(1) 富士市観光基本計画の施策4 歴史・自然の活用において「3 富士川・松野地区等の文化財の活用」とあるが、具体的にどの歴史資源に期待するか。また、その活用に向け必要となる整備等をどのように考えているか。</p> <p>(2) 第六次富士市総合計画の基本目標6、政策分野1 観光の中で「周辺地域との広域連携を強化し、回遊性を高め、観光資源の活用を図ります」とあるが、富士川・松野地区の歴史資源の活用においてはどのように具体化が検討されているか。</p> <p>(3) 富士市文化財保存活用地域計画（案）に「文化財の保存・活用の推進体制」が示されている。地域の歴史資源の保存活動の実態との検証はどのように進められるか。富士川地区・松野地区の文化財の保存・活用に当たって、地域の活動団体との協力関係をどのように築き上げていく考えか。</p> <p>(4) 文化財の活用による交流の推進が期待されるが、その地域経済への効果、市財政への影響をどのように考えているか。また、今後の文化財の保存・活用のための費用の負担はどうあるべきと考えるか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	藤田 哲哉（13）	<p>1. 社会福祉センターから生まれたコミュニティの今後について</p> <p>令和4年6月2日、福祉保健委員会協議会において、富士市社会福祉センター事業審議会の答申内容と、社会福祉センター存廃の市の方向性及び利用者の居場所づくり等について報告されました。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 市の方向性の中で廃止の3施設については、施設周辺では類似事業が展開されており、当該施設で行政が継続して事業を行う必要性は低いと考えられることから、地元関係者等との協議を十分に行い、理解を得た上で廃止ととしています。ここでいう地元関係者等とは、答申内容にある施設利用者、地域住民、関係者等ということなのか伺います。</p> <p>(2) 廃止施設の利用者の居場所づくり等については、社会福祉センターは、高齢者の社会参加や仲間づくり等、「居場所」としての機能を有していたことから、廃止する施設の利用者及び地域住民に対し次の活動を促すとして、5つの提案をしています。</p> <p>「居場所」としての機能を有していたことで、アウトカムとして広見荘では、コミュニティが生み出されました。1日誰とも話をしない独居の高齢者が、ここに来れば、挨拶ができる、笑うことができる、幸せを感じることができる、生きてると実感できる。社会福祉センターとしての行政目的達成の結果、成果としてコミュニティを生み出しました。廃止によりこのコミュニティが分裂した場合、震災関連死のような状況が起きないように、私たちは生み出した責任を果たさなければなりません。そこでこれら5つの提案は、利用者の皆さんのコミュニティを維持し、生きがいを持ち続けられる提案であるとお考えか伺います。</p> <p>(3) 各提案では、参加を促す、情報提供するとありますが、高齢者の皆さんは新たな場所へ行くことや新たにグループに参加すること、また、自ら進んで仲間づくりをすることが大変苦手であります。利用者の皆さんは、孤独になること、孤立してしまうことに大変不安を積もらせています。これらの不安を払拭するためにどのような対応をお考えか伺います。</p> <p>(4) この広見荘は、災害時に福祉避難所としての機能を有していますが、今後もこのような活用を視野に入れているのか、お考えを伺います。</p> <p>2. 富士市のスポーツを支える人材育成とアスリートセカンドキャリア支援について</p> <p>近年、スポーツ庁では、プロスポーツ選手へのデュアルキャリアを勧めています。その背景として、かつては実業団中心だった日本スポーツ界も、企業スポーツからプロスポーツ</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	藤田 哲哉（13）	<p>へとシフトする流れが加速したことによります。実業団選手は、スポーツ以外の仕事をする時間もあり、そこで社会人としてのスキルを身につけることができましたが、プロ化が進んだことで事情が変わりました。今後は、スポーツ選手が「第2の人生」に富士市を選び、充実した人生にしてもらう仕組みづくりが必要であると考えます。</p> <p>そこで、以下質問いたします。</p> <p>(1) 就労経験がない、または就活をしたことがないスポーツ選手は、ユニバーサル就労支援センターのサポート対象として考えられるのか伺います。</p> <p>(2) アスリートのセカンドキャリア支援をする中で、企業のみならず就労するアスリート自身も社会貢献ができ、富士市のスポーツ推進に携わることができると思いますが、いかがお考えか伺います。</p> <p>3. 富士市立中央病院の機能充実について</p> <p>改善が図られてきている診察待ち時間等について、より患者の皆さんの負担を軽減するため、富士市立中央病院の施設整備について伺います。</p> <p>(1) 待ち時間をより有効に使える手段として、ゲストレシーバー（メッセージ機能付呼出しベル）の配備が期待される場所ですが、設置についてのお考えを伺います。</p> <p>(2) 入院時に点滴等の処置のため、入院患者のリストバンドのバーコードを読み込む必要があるのですが、場所によってはスムーズに読み込めない場合があると伺っています。病院機能としてネットワーク環境の充実を図ることが必要不可欠と思いますが、いかがお考えか伺います。</p>	市長 及び 担当部長